

## 研究内容の説明文

献血者説明用課題名※ (括弧内は公募申請課題名)	ヒト血液における牛白血病ウイルス感染の確認 (牛白血病ウイルスのヒトへの感染の可能性)
研究期間	平成 28 年 4 月 ～ 平成 32 年 3 月
研究機関名	特定国立研究開発法人理化学研究所
研究責任者職氏名	研究員 竹嶋伸之輔

※献血者に対しても理解しやすく、平易な文言を使用した課題名を記入してください。

研究の説明	
<p>1 研究の目的・意義</p> <p>牛白血病ウイルス (BLV) はウシに感染して白血病を誘発するウイルスです。日本において、乳牛の 40.9%、肉牛の 28.7%が BLV 陽性であり (平成 21～23 年度調査)、牛白血病発症頭数も年々増加しています。BLV は感染細胞を含む血液や乳汁を介して伝播しますが、これまでヒトへの感染性は否定されてきました。しかし、近年、約 100 人の健常者の 29%で BLV のプロウイルス DNA が検出されたと報告され、BLV がヒトへ感染するか否かについて関心が集まっています。BLV のヒトへの感染性や、感染ルートについて研究を進めることができれば、予防策を考案することや、ウシ由来製品への安全性を高めるうえで大きな意義があります。理化学研究所では現在、ウシとの接触頻度が高い、高リスク群の人達を対象として BLV 感染の有無について調査を進めており、そこで得られた結果の比較検討のために BLV が検出されない陰性コントロールを必要としています。</p> <p>2 方法《献血血液の使用法含む》</p> <p>献血血液の検査残余血液を使用します。血清成分から BLV に対する抗体の検出を行い、また、全血から DNA を抽出し、BLV プロウイルス DNA 量を測定することで、血中に BLV が残っているかを測定します。</p> <p>3 予測される研究の成果等</p> <p>BLV のヒトへの感染性や感染ルートを明らかに出来れば、ヒトにおける BLV 研究の進展に大きく寄与します。また、BLV 感染予防や食の安全対策を講じる上で、適切な対応ができる様になり、公衆衛生的意義のある研究であると期待されます。</p>	

本研究に関する問い合わせ先

所属	特定国立研究開発法人理化学研究所
担当者	竹嶋伸之輔
電話	048-462-4420
Mail	takesima@riken.jp